

◆異彩の人物：発智庄平 (ほっちしょうへい：1864～1936) とは

発智庄平は、明治・大正・昭和初期に活躍した川越市笠幡の旧家の当主で、教育者・社会事業家・銀行家・社会福祉実践家である。現在、霞ヶ関カンツリー倶楽部の創設者として知られているが、その他の幅広い活動と実績は、あまり知られていない。庄平の本質は教育者である。加えて道徳の実践者であり、現代、私たちが言うところの生涯教育（生涯学習）を唱えたさきがけでもあった。

庄平は、幕末の元治元年（1864）10月5日に、黒須村（現・入間市）の繁田家に生まれたが、親戚であった繁田家と発智家の申し合わせで、19歳の時、発智家の養子となり、やがて27代目当主となった。発智家は、鎌倉時代から約700年間続く、笠幡村きっての名主で、当時300haの土地を有する大地主であった。

青少年期より勉学に熱心に取り組み、教師の道を歩みはじめた。その後、さらに埼玉県師範学校高等師範科（1期生）で学び、黒須高等小学校校長となり、入間地域の教師達のリーダーとなった。庄平は、徳育を重視して、生徒が卒業してから地域に役立つ人材となるよう「実用の学問」を目指した。

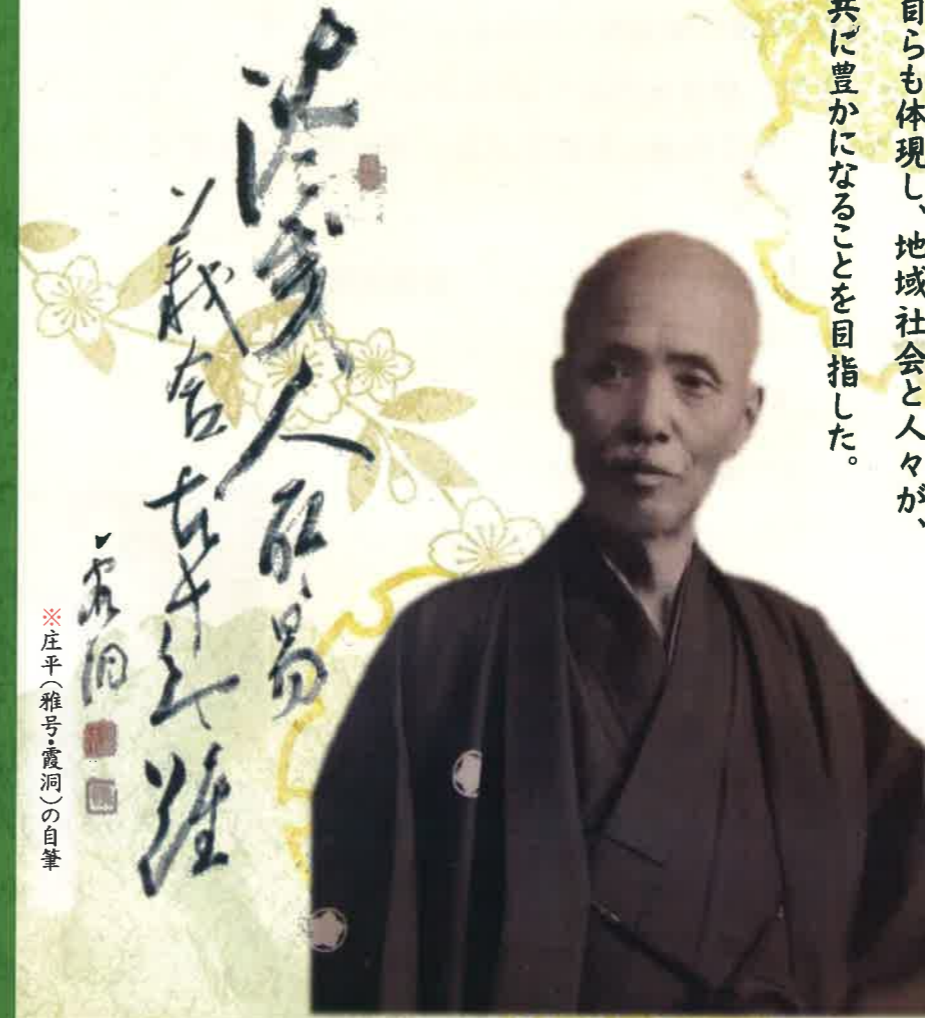
国民の道徳振興を図る日本弘道会の西村茂樹博士を講演会に招いたことから、同会の黒須支会を弟の繁田武平と設立し、更に、地域の人々の生活向上を目指す黒須信用組合を設立した。同信用組合は、その後、道徳銀行と称された黒須銀行へと発展し、頭取には36歳の庄平が、顧問には渋沢栄一が就任した。

34歳で黒須高等小学校を退職した後は、霞ヶ関青年道徳研究会を組織して青年教育に力を入れると共に、発智農会を創立して、小作人の保護や救済も図った。さらに、霞ヶ関小学校建設用地として所有する6300㎡の土地を寄付した。霞ヶ関村の村長を務めた他、嵐山町にあった埼玉育児院を援助し、最終的に庄平が所有する笠幡の地に院舎を建設し、移転させて院長を務めた。共に日米生糸株式会社を経営した星野正三郎との縁で、地域の経済振興を目的に、所有していた山林を活用して「霞ヶ関カンツリー倶楽部」のゴルフ場を開設し、今日に続く基盤を作った。昭和11年（1936）2月28日、2・26事変の報を聞き、国家の安泰を願いつつ72歳で永眠した。墓は地元笠幡の延命寺にあり、地域の発展を見守っている。

高麗神社社務所 埼玉県日高市新堀833 電話 042-989-1403

社会事業や慈善事業
に貢献した教育者 **発智庄平 特別展**

—霞ヶ関カンツリー倶楽部創設推進者 発智庄平 その意外な素顔—



※庄平(雅号・霞洞)の自筆

東京2020オリンピックの
ゴルフ会場となった霞ヶ関カンツリー倶楽部
その創設者 発智庄平は、教育そして道徳を重んじる人であった。
多くの社会事業や慈善事業を手掛け、
渋沢栄一と交流し、渋沢の唱える「道徳と経済の合一」を
自らも体現し、地域社会と人々が、
共に豊かになることを目指した。



霞ヶ関カンツリー倶楽部で
ゴルフを楽しむ発智庄平

開催期間:令和5年7月28日(金)～8月6日(日)

展示会場:高麗神社 参集殿2階 大広間

開場時間:9:00～16:00 ※入場無料

<講演会 及びトークセッション> ※事前申込み・両日とも各40名/参加無料/他、中面参照

■ 7月30日(日) 13:30～15:30 講師: 発智金一郎氏 (霞ヶ関郷土史研究会 会長)

■ 8月6日(日) 13:30～15:30 講師: 杉田修一氏 (元中学校校長 他)

<紙芝居 上演> ■ 期間内に複数日実施 ※展示会場内/自由参加・無料/他、中面参照

主催:高麗神社<埼玉県日高市新堀833 電話 042-989-1403>/企画運営:高麗郡偉人伝企画運営委員会

<後援>埼玉県西部地域振興センター/日高市/日高市教育委員会/川越市/川越市教育委員会

/テレ玉/飯能日高テレビ/埼玉新聞社/(株)ブラウズ<文化新聞>/J:COM 東上・川越 (順不同)

◆ **展示会** 会場:高麗神社 参集殿2階 **※入場無料**

展示期間 — 令和5年 7月28日(金)～8月6日(日)

開場時間 — 9:00～16:00

◇Ⅰ:「発智家とは～700年の歩み～」…発智家の起源/ 笠幡村の名家/ 24代当主発智光正の紹介
榎本武揚との関係/ 家系図 など

◇Ⅱ:「発智庄平の生涯とその功績」…庄平の略年表/ 繁田家/ 教育者生活とエピソード
西村茂樹博士との出会いとその後の活動/ 黒須信用組合より黒須銀行/ 渋沢栄一と道德銀行/
発智農会設立と小作人の保護・救済/ 青年教育と入間学友会/ 霞ヶ関小学校敷地の寄付/
銅像除幕式/ 埼玉育児院への援助と院長 など

◇Ⅲ:「発智庄平と霞ヶ関カンツリー倶楽部の創設」…星野正三郎とゴルフ場建設構想/
ゴルフ場オープンへの経緯/ 霞ヶ関カンツリー倶楽部の活動
庄平の「互流普詩(ゴルフうた)」とプレーをする庄平 など

◇動画放映「霞ヶ関カンツリー倶楽部の誕生」(1929年 6分15秒)予定:毎日
(内容)約100年前に建設されたゴルフ場誕生の映像を、ぜひご鑑賞ください。



庄平まんが: ゴルフのプレーを楽しむ庄平



道德銀行と称された黒須銀行
その重役・行員たち



埼玉育児院建設中。昭和3年頃
庄平は院長を務めた



伊香保(群馬)旅行中の
庄平

(※ 画像提供: 発智金一郎 氏)

◆ **体験イベント 紙芝居 上演** **※申し込みの必要はありません。自由参加です。**

題名 『社会事業や慈善事業を熱心に行った教育者:発智庄平物語』

上演日: 7月28日(金)～30日(日)、8月1日(火)～6日(日) ※7月31日は休演

時間: 午後2時より約30分 ※但し、7月30日(日)と8月6日(日)は午前10時

会場: 高麗神社 参集殿2階 大広間

上演者: 展示解説員・山崎綾子(やまざきあやこ) 氏

(内容) 今回の展示会のために、新たに制作した紙芝居です。発智庄平の生涯と、その人物像をわかり易く解説しました。展示と共にご観覧ください。(監修:発智金一郎氏、絵と文:山田えいじ氏)

◆ **講演会** 会場:高麗神社 参集殿2階

■ 7月30日(日)13:30～15:30 **※事前申込み**

【第1部】 講演:『社会事業・慈善事業に貢献した教育者 発智庄平』<約50分>
講師: 発智 ^{ほつち きんいちろう} 金一郎 氏 (霞ヶ関郷土史研究会 会長)



【第2部】 トークセッション<約45分> 発智金一郎 氏 ・ ^{こまふみやす} 高麗文康 <高麗神社 宮司>

<講師紹介>1942年川越市笠幡生まれ。発智庄平のひ孫。長年、発智家及び発智庄平の歴史研究を行い、数多くの場所で発智庄平の功績とその生涯を講演する。川越市立博物館へ、発智家に関する文書史料約2400点を寄託した。小江戸川越「大地の園」の会会長でもある。

<講師コメント>発智家の歴史は大変古く、鎌倉時代には、現在の高麗神社宮司を務める高麗家と親戚関係にありました。発智庄平は教育者でありながら、それを越える多くの社会事業や慈善事業を行い、地域社会の発展に貢献しました。また、実業家の渋沢栄一や多くの地域著名人との交流もありました。多様な顔をもつ庄平像を紹介したいと思えます。

■ 8月6日(日)13:30～15:30 **※事前申込み**

【第1部】 講演:『発智家・700年の歩み
～24代・発智家当主 発智光正を中心に考察～』<約50分>
講師: 杉田 ^{すぎた しゅういち} 修一 氏 (元中学校校長 / 元日高市教育委員会学校教育課長)



【第2部】 トークセッション<約45分> 杉田修一氏・発智金一郎氏・高麗文康

<講師紹介>1948年埼玉県小川町生まれ。埼玉大学卒業後、社会科教諭として長年、埼玉県西部の中学校に勤務。日高市教育委員会では学校教育課長を務める。川越市立山田中学校校長を経て、南古谷中学校校長を最後に退職。発智家の歴史研究を行う。小江戸川越「大地の園」会の会員。

<講師コメント>発智家は鎌倉時代、北条貞時に仕え、信濃国佐久郡発地郷を領有して発地と称し、正応年間(1288～1293)に関東に下って現在の川越市笠幡に居住し、代々名主を務めました。その発智家の歴史が今に語り継がれているのは、発智家24代当主の発智光正が調査、記録したからです。今回の講演では、その光正が残した記録をもとに、発智家700年の歴史をお話します。

<講演会 参加申込み>

- 受付期間:7月5日(水)～8月5日(土) (両日定員に達し次第、締め切ります)
- 定員: 各40名 ○参加費: 無料 ○対象: 中学生以上
- 申込み方法: 電話・神社窓口のいずれかにて申込み。(必要事項:氏名・住所・連絡先・年齢)
- 申込み先:高麗神社 受付時間:8:30～17:00 TEL 042-989-1403

<高麗郡偉人伝 協力団体紹介>

川越市立博物館 / 入間市博物館 ALIT / 霞ヶ関カンツリー倶楽部 / 埼玉育児院 / 発智美恵子氏